

# 企業のデジタル化 任せて

## 岡崎・太田油脂の新会社「GBS」

岡崎市福岡町の食用油メーカー「太田油脂」が昨年十二月、デジタル部門に特化した新会社を設立した。コロナ禍で情報通信技術（ICT）の活用が進む中、ノウハウの乏しい地元企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）推進を後押しする。

創業明治三十五年



（服部壮馬）

新会社「グローバル・ビジネス・ソリューションズ（GBS）」は、市内の運輸業や製造業など十社を支援。顧客の個人情報や社内機密情報など情報セキュリティ対策のために、社用携帯電話の導入を助言している。IT専門分野を持たない各企業が個々に導入するよりも、GBSがまとめて進めることで、企業は本業に専念でき、業務の効率化やICT導入にかかるコストの削減も期待できる。

太田油脂でDXに関わってきた白岡健社長（五）は

新会社のロゴマークを手にする白岡社長（左）と岡崎市福岡町の太田油脂で

## 地域の中小や行政と連携「社会全体で推進」

「DXは社会全体で進めなければならぬ課題。地方の人材が地方で活躍できる場を提供するためにも、地域の中小企業や行政と連携し、DXを進めていきたい」と強調する。白岡さんは地元企業のデジタル化のけん引役として、総務省東海総合通信局主催の「サイバーセキュリティセミナー2022」で情報セキュリティ強化の取り組みに関する講演を予定している。

太田油脂は、一回目の緊急事態宣言が発令された二〇二〇年四月からテレワークの導入や、個人情報の取り扱いを強化するためプライバシーマークの導入などに取り組んできた。二一年四月からは、岡崎市と幸田町の新型コロナウイルスのワクチン接種のデータ入力を担っている。昨年七月には、岡崎商工会議所と共同で、セミナーを開いた。社内向けだったITに関する勉強会を誰でも参加できるようにした。

放置されている」と通報があった。

厳重注意となった。